


ガ
ん
だ



第11回 4月7日

桜まつり

殿川クリーンクラブ

 議会だより No.160

令和6年度予算 P 2
1月臨時会 P 4
3月定例会 P 5
議案質疑・委員会質疑 P 6
議決結果 P 8

視察・研修報告 P 9
議会のうごき P 10
パンジープラザ特別委員会報告	
一般質問 P 11 ~
あとがき P 24

新年度予算 過去最大!

注目事業

物価高騰やデジタル化(DX)など、第5次苅田町総合計画に掲げた将来都市像を実現するため、6本柱を軸にした予算。

①次世代を担う子どもたちへの投資

給食費無償化 約1億2520万円

令和6年4月～令和7年3月まで 町内小中学校給食費無償化。



②デジタル化(DX)の推進

LINEを活用した新サービス 約230万円

苅田町のLINE公式アカウントを活用した新たなシステムを導入。

※画像は実際の苅田町公式LINE。



③健やかな地域社会の実現

こども家庭センターの設置 約806万円

妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機関としてパンジープラザ内にこども家庭センターを設置。



④安心安全なまちづくりの推進

災害用備蓄品・避難所用備品 約127万円

備蓄倉庫に保管している食料・飲料水の入替え。また、新たに避難所用に自動ラップ式トイレ、トイレ用テント、災害用マンホールトイレ様式を整備。



⑤快適な都市基盤の整備

小波瀬西工大前駅周辺整備計画調査業務委託 約1100万円

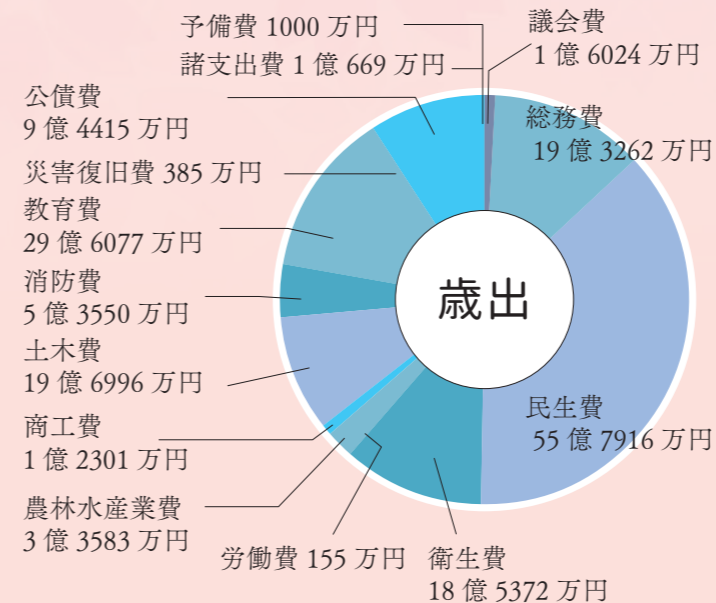
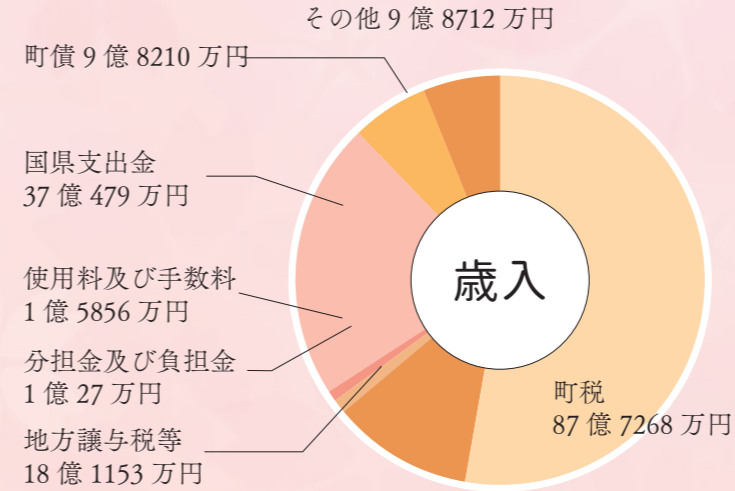
小波瀬西工大前駅周辺エリアについて、駅などの鉄道施設の整備と連携した効果的な整備を目指し、JR九州と相互に調整を図りながら計画調査を行う。



⑥活力ある産業・観光の振興

臨空産業公園設計業務委託 約3538万円

空港の見える公園「(仮称)臨空産業公園」を観光スポットとして整備。



3月定例会は、2月26日から3月22日まで開催、令和6年度予算をはじめ、条例の改正や、人事案件などいずれの議案も可決しました。令和6年度の一般会計予算は、165億1705万円と前年度比7.1%

1%の増で、過去最大の予算となっています。予算特別委員会での主な審議内容、議案に対する主な質疑、付託委員会の審議内容は6ページに、議決結果は8ページに掲載しています。

予算総額 165億1705万円
(前年度比 107.1%)
約10億8879万円増

	金額 (万円)	前年度比		
一般会計	165億1705万円	107.1%	↑	
特別会計	国民健康保険特別会計	33億8875万円	99.1%	↓
	後期高齢者医療特別会計	6億2682万円	109.0%	↑
	介護保険特別会計	29億8931万円	101.4%	↑
	土地区画整理事業特別会計	11億8961万円	127.0%	↑
	住宅新築資金等特別会計	102万円	40.8%	↓
	苅田臨空産業団地開発事業特別会計	131万円	49.8%	↓
	京都郡公平委員会特別会計	75万円	74.3%	↓

1月
臨時会

1月23日

補正予算

令和5年度苅田町一般会計補正予算(第10号)は1億4177万5千円を追加し、補正後の総額を175億4954万6千円。

令和5年度住民税均等割のみ課税世帯に対し、一世帯あたり10万円給付。

令和5年度住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯のうち、18歳以下の子ども一人あたり5万円を給付。
・火葬炉の緊急修繕

その他の議案

●工事請負契約の締結
苅田中学校長寿命化改修

修工事を行うにあたり、仮契約金額10億7478万3000円で、三軌建設株式会社を工事請負人と定めるもの。

議案質疑

●工事請負契約の締結
Q 工事を分割して発注する考えはなかったのか。
A 工期の短縮を優先し、一括発注とした。

Q 下請けを地元業者に委託する要請は。
A 仕様書に記載している。

Q 指名停止措置となつた理由は。
A 本町施工の工事について、安全配慮に適切があつた。

Q 入札業者が三者となつた理由は。
A 公共工事の経営事

項の審査結果で1200点以上の総合評点を取つた業者が対象となつた。

Q 過去に指名停止となつた件数は。
A 昨年度1件。

Q 工事の内容は。
A 外装、内装共にほぼリフォームするイメージ。

委員会質疑

総務

常任委員会

●一般会計補正予算(第10号)

【総務費】
Q 価格高騰対策の内容は。
A 住民税均等割世帯対象の給付事業。

Q 非課税世帯数と均等割世帯数は。
A 更新後13年経ち、耐火レングの修繕が多い。今回は集塵機の目詰まりによるもの。

A 非課税世帯3916世帯、均等割世帯680世帯、今後、確認する世帯が1676世帯。

厚生文教

常任委員会

●一般会計補正予算(第10号)

【衛生費】
Q 火葬場における修繕が頻繁に起こっているが。
A 更新後13年経ち、耐火レングの修繕が多い。今回は集塵機の目詰まりによるもの。

【繰越明許費】
Q 火葬場が使えるようになるのはいつからか。
A 更新後13年経ち、耐火レングの修繕が多い。今回は集塵機の目詰まりによるもの。

A 夏前には交換を終える予定。

●工事請負契約の締結(苅田中学校長寿命化改修工事)

Q 分割発注をして地元業者を入れるようにできないか。
A 一括入札の方が工期を短くできる。今後、検討したい。



令和6年第1回 苅田町議会臨時会議決結果一覧表

議案番号	件名	角崎明美	森琢磨	福山直樹	田淵朗	末石伸二	花見文敏	村上智宣	岩谷潔	尾形均	白石学	友田敬而	小山信美	武内幸次郎	坂本東一郎	梶谷忠明	沖永議長	結果	
議案第1号	令和5年度苅田町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第2号	工事請負契約の締結について(苅田中学校長寿命化改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

議長は採決に加わらない。 ○-賛成、×-反対 除-除斥(審議対象議員のため退席)

3月
定例会

令和6年度一般会計予算等33件を審議・選挙2件

2月28日
～
3月22日

補正予算

令和5年度苅田町一般会計補正予算(第11号)は、歳入歳出それぞれ3億1629万4千円を追加し、総額は178億6584万円。

条例改正

●地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理

に関する条例

地方自治法の一部を改正する法律等が公布されたため、関係条例の条文を改正。

●自転車駐車場条例
苅田駅北側自転車駐車場の移転及び小波瀬駅前自転車駐車場の名称の変更。

●職員の育児休業等に関する条例
勤勉手当の支給対象

に関する条例

に、パートタイムの会計年度任用職員が追加されたことによる所要の改正。

●職員の給与に関する条例
消防職において、参事職を新設。給料表の最高号給の所要の改正。
●会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例
勤勉手当の支給対象に、

●指定居宅介護支援事業者の指定に関する基

*一般会計補正予算(歳出で補正した主なもの)

【一般会計(第11号)】	
・ふるさと応援寄付金返礼	482万円
・補助金返還金	101万円
・私立保育園委託料	7051万円
・保育所等物価高騰対策費補助金	59万円
・ディーブフリーザー廃棄処理業務委託料	12万円
・農地流動化促進事業補助金	221万円
・ため池の耐震に係る調査委託料	1052万円
・土地区画整理事業特別会計繰出金	2億8313万円
・まちづくり基金積立金	2160万円
・財政調整基金積立金	2億6464万円
【国民健康保険特別会計(第4号)】	644万円
【住宅新築資金等特別会計(第1号)】	312万円

パートタイムの会計年度任用職員が追加されたため、所要の改正。

●手数料条例
消防法に基づく危険物貯蔵所の設置許可申請の審査に係る手数料の額が引き上げられたことによる所要の改正。

●介護保険条例
標準段階数が9段階から13段階へ多段階化されたことによる変更。
乗率についても、所要の改正。保険料は、標準月額を5800円に据え置き。

準並びに事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

●指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例
介護予防支援事業の指定が、居宅介護支援事業所も受けられるようになったため、事業の指定基準等を定めている条例を省令に適合するよう改正。

●公共下水道条例
特定事業場から公共下水道に排水される下水に含まれる六価クロム化合物の基準の変更に

その他の議案

●町道路線の認定
都市計画法第40条の帰属に伴う道路を道路法に基づき町道として認定。

●工事請負契約の締結
苅田町総合体育館改修工事請負契約に関し増工の必要が生じた。

●土地改良事業の施行
農業用ため池平石池の堤体及び取水口の改修及び耐震補強を行う。

人事案件

●教育委員会委員の任命
下野孝次氏を再任
●副町長の選任
安成健一郎氏を選任

議案質疑

令和6年度一般会計予算(第3号)

【農水産業費】

Q 中山間地直接制度交付金の該当地区は。

A 八田山地区。

【土木費】

Q 下水道の繰出金は約4億円だが、この金額で事業が終わるのか。また目標年度はいつか。

A できるだけ早く事業が終了するように努める。汚水処理構想で令和27年度を目標年度とした。

【教育費】

Q 公民館等が多くて維持できないのでは。

A 将来、町の負担が大きくならないように考えていく。

提言 廃止を含めて、

検討してもらいたい。

令和5年度住宅新築資金等特別会計補正予算

Q 住宅新築資金の状況は。

A 残金3921万3千円。5年度入金額は122万5千円。

公共下水道条例の一部を改正する条例

Q 六価クロムの人体への影響は。

A 国から通知で人体への影響があったため今回の改正に至った。

委員会質疑

予 算

特別委員会

令和6年度一般会計予算(歳出)

【総務費】

Q 新庁舎建設検討委員会委員報酬の増額理由は。

A 前年より回数を2回増やす予定。

Q 防犯カメラ設置事業補助金の減額理由は。

A 令和4年度、5年度の申請実績がなかったため。

【民生費】

Q 子ども家庭相談のソーシャルワーカーはどこに駐在しているのか。

A 週3日はパンジープラザに常駐。それ以外の2日間は電話にて対応。

【衛生費】

Q 環境審議会委員報酬は何名分か。

A 会長、副会長、他報酬の発生する委員4名の計6名分。

【農林水産業費】

Q 多面的支払交付金の減額理由は。

A 黒添地区が令和5年度をもって終了となったため。

【商工費】

Q 臨空産業公園のコンセプトは。

A 子どもや高齢者障がいのある方を中心に、使いやすい公園にしたい。

【要望】駐車場等もしっかり考慮して欲しい。

【土木費】

Q 小波瀬西工大前駅周辺整備事業の令和6年度以降の予定は。

A 令和6年度中に測量業務が終了予定。令和7年度に計画検討業務を行う予定。

【教育費】

Q 小学校の防犯カメラの設置予定は。

A すでに2台設置している白川小学校を

除く、残り5校に2台ずつ設置予定。

【諸支出金】

Q 各基金において積立目標値はあるのか。

A 財政調整基金については40億円を目標と考えている。その他の基金については、目標値があるものではないが、できる限り積み増していきたい。

●土地区画整理事業特別会計予算

Q 完了までにかかる費用の見込みは。

A 令和6年度から9年度まで約21億円。

Q 事業が遅れる可能性は。

A 現在、順調に進んでいる。

水道事業会計予算

Q 現在計画中の北九州市からの浄水供給は、トン当たり95円。緊急時の供給単価は。

A 現在協議中である。

総 務

常任委員会

●職員の育児休業等に関する条例

Q 内容は。

A 勤勉手当の支給対象に会計年度任用職員を加えた。

●会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例

Q 全体の金額は従来よりもどの程度上がるのか。

A 約7000万円程度。

●一般会計補正予算(第11号)

【総務費】

Q ふるさと応援寄付金返礼品及びふるさと応援寄付金促進業務委託料の内容は。

A 当初見込み額の増

加により返礼品額と委託経費が増えた。

Q 本町から他の自治体に寄付される額が多い。いくらマイナスか。

A 令和3年3800万円、令和4年3100万円。

【消防費】

Q 現在の自主防災の組織数は。

A 34自治会。

産業建設

常任委員会

土地改良事業の施工

Q 改修に至った背景は。

A 国の指導により調査をした結果、耐震性能と排水能力が不足している結果となったため。

Q 町全体の状況は。

A 防災重点溜池36ヶ

所中28カ所が調査対象。内8箇所が調査済み。工事を行うのは今回が初めて。

Q 国、県の補助は。

A 設計費55%、工事費80%。地元負担金が0.5%。

●一般会計補正予算(第11号)

【農林水産業費】

Q 測量設計委託料の内容は。

A 国の補正予算が出たため、溜池の追加調査を行う。

【土木費】

Q 都市計画道路見直し業務は終了したのか。

A 3月末で終了予定。

Q 対象路線は。

A 4路線を予定。

Q 与原土地区画整理

事業の公有地売却が遅れているのでは。

A 令和5年度は3筆の売却が進んだ。

●土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)

Q 緑越明許費の内容

は。

A 物件移転の交渉が長引いたため、年度内の移転が困難となった。

●住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号)

Q 本特別会計は早めに閉鎖するべきでは。

A 回収できているものもあるため、今しばらくは継続したい。

●公共下水道条例

Q 今回の改定での影響は。

A 本町は現状で基準を満たしているため影響はない。

●指定居宅介護支援事業者の指定に関する基準並びに事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

Q ケアマネジャーの取り扱い人数は。

A 介護者44人に対してケアマネジャーが1人。

Q ケアマネジャーが

本町も足りていないのか。

A 不足気味ではあるが、ケアプランがたてられない程ではない。

●指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防のた

めの効果的な支援の方

法の基準に関する条例

Q 改正の内容は。

A 介護予防支援に、指定居宅介護支援事業所も参入できるようになった。

●一般会計補正予算(第11号)

【民生費】

Q 医療的ケア児在宅

レスパイト事業とは。

A 医療的ケアの必要

な障がい児の保護者の一時的な休息のため、訪問看護で障がい児を預かる事業。

Q 減額の理由は。

A 令和5年度は利用がないため。

【労働費】

Q 若年者専修学校等技能習得資金貸付金の減額理由は。

A 申請実績がなかったため。

【教育費】

Q 北公民館屋上防水・電灯設備工事の減額

理由は。

A 入札残。

Q 図書館システム機器・ソフトウェア等更新導入業務委託料の過大な金額の減額理由は。

A プロポータル時と仕様変更になったため。

【債務負担行為補正】

Q 苅田中学校仮設校舎の金額の変更はあるのか。

A 可能性はある。

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

Q 広域連合納付金の減額は、高齢者数の減少のためか。

A 保険料の軽減によるもの。

Q 医療費が減るよう

な施策はあるのか。

A 介護予防と保健事業を一体とした事業を強化する。

総務常任委員会視察研修 ▶▶▶ 広島県海田町 (2月1・2日)

研修内容 新庁舎の基本構想に係る他の自治体の取り組み

海田町は広島市の東部に位置し、広島駅まで6.4kmと近く、町内面積が13.79km人口3万人の小さな町で、古くから交通の要衝として栄え、自動車関連企業が多く、近年外国人労働者が増えている。

新庁舎については、敷地面積が3600㎡と狭く効率的な庁舎が求められた。また、コンセプトは1.町に開かれた町民交流施設2.誰

もが利用しやすい窓口機能3.暮らしの安心を支える防災拠点機能4.町の未来を考える議会機能の4つで、町民に親しまれる庁舎を目指したとのこと。

今回の視察では、敷地面積が限られた中で効率的に各部署等配置し、多目的室を多くとり町民が利用しやすい様に考えられ、また、災害に強く、環境に配慮した庁舎で本町の庁舎建設に大変参考になった。

産業建設常任委員会視察研修 ▶▶▶ 熊本県菊陽町・益城町 (1月29・30日)

研修内容 企業誘致 (立地) 用地確保・空港活用

【菊陽町】TSMCをはじめとする企業が多く立地しており、企業誘致について研修。企業誘致を行うため、銀行へのアプローチ等も行っている。なお、TSMCの誘致については、もともと立地しているソニーからの紹介によるものだが、町独自の工業用地の造成計画があったため、スムーズな受け入れが可能であった。また、下水道普及率が90%を超

えており、工業排水への対策もなされていた。【益城町】熊本空港を有しており、空港の活性化を含めた意見交換を行った。熊本地震で被災したものの、復興に合わせてインフラを整備。庁舎も被災したが、新庁舎完成までの仮庁舎を、一般の企業や住民に貸し出せるようにリメイクし、住民交流の場となっている。また、熊本空港完成までの経緯や空港のコンセプトなどについても研修を行った。

厚生文教常任委員会視察研修 ▶▶▶ 大阪府守口市・羽曳野市 (2月6・7日)

研修内容 交番と一体化した安全安心な小学校づくり・古墳を生かしたまちづくり

【守口市】市立の「さくら小学校」は、二つの学校を統合する際、交番が学校敷地内に入込まれ、安心安全につながっている。校舎内には、子どもたちの楽しく学べる工夫が随所に施され、地域の人が自由に利用できる交流の場や大学の教室のようなホールもあり、広々としている。また教室はワンフロアに配置され異年齢交流もできる。新しい学校の形

を感じ、非常に参考になった。【羽曳野市】世界遺産である「百舌鳥・古市古墳群」のエリアに属している。古墳を生かしたまちづくりとして、小中学校での出前講座や、市民・愛好者による活動、関係各機関と連携してメディア戦略をすすめている。本町の石塚山古墳は、羽曳野市より古く、研究に外せない古墳と知った。まちづくりに生かしていきたい。

令和6年第2回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	件名	角崎明美	森琢磨	福山直樹	田淵朗	末石伸二	花見文敏	村上智宣	岩谷潔	尾形均	白石学	友田敬而	小山信美	武内幸次郎	坂本東一郎	榎谷忠明	沖永議長	結果	
議案第3号	令和6年度苅田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第4号	令和6年度苅田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第5号	令和6年度苅田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第6号	令和6年度苅田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第7号	令和6年度苅田町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第8号	令和6年度苅田町住宅新築資金等特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第9号	令和6年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第10号	令和6年度京都府公平委員会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第11号	令和6年度苅田町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第12号	令和6年度苅田町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第13号	地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第14号	苅田町自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第15号	苅田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第16号	苅田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第17号	苅田町会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第18号	苅田町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第19号	苅田町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第20号	苅田町指定居宅介護支援事業者の指定に関する基準並びに事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第21号	苅田町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第22号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第23号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について (苅田町総合体育館改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第24号	土地改良事業の施行について (農業用ため池整備事業 平石地区)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第25号	令和5年度苅田町一般会計補正予算 (第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第26号	令和5年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第27号	令和5年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第28号	令和5年度苅田町介護保険特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第29号	令和5年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算 (第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第30号	令和5年度苅田町住宅新築資金等特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第31号	令和5年度苅田町下水道事業会計補正予算 (第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第32号	令和5年度苅田町水道事業会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第33号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第34号	苅田町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第35号	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
選挙第1号	苅田町選挙管理委員の選挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	当選
選挙第2号	苅田町選挙管理委員補充員の選挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	当選

○一賛成、×一反対 ※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。
※選挙第1～2号については議長の指名推薦により全会一致で当選

Q 目玉施策は。
A LINEを活用した行政サービス。
Q 山側に住宅地が形成されている。交通弱者への対応強化は。
A コミュニティバスを含め、地域公共交通計画で検討する。
Q 子育て支援で、給食無償化の恒久的な施策は。
A 国が行うことを期待。新年度は無償化を行う。
Q ふるさと納税で、他自治体への寄付件

数が増加傾向だ。本町への寄付額は。
A 令和3年1640万円、4年5540万円、5年9190万円。
Q 増えた要因は。
A おむつの返品登録や、受付のポータルサイト増による。
Q 空港滑走路3000坪化のメリットは。
A アジア、欧州、北欧などへの輸送圏拡大で、町内産業にも有益。
提言 好機を逃さず有効施策や、時代に即した対応を。

自然豊かな白川地域の振興
Q 交流人口増や活性化へ向けた本町の観光振興の位置づけは。
A 地域の活性化が第一だ。観光人口を人口増へと導き定住化へつなげる。
Q 農村景観百選でもある棚田保全の現状は。
A 景観保全協議会を設立し、耕作管理保全活動に取り組んでいる。

Q 農機具利用の環境を整え景観維持が必要。観光資源の観点から支援強化を。
A 検討していく。
Q 青龍窟、鬼の空手岩、広谷湿原への動線構築が必要。出入口に門扉設置ではなく道路整備が必要では。
A 不特定多数の車両通行により損傷が激しく、地元との協議で門扉設置をした。
Q 子ども議会で、白川の児童議員より地元農業者との懇談依頼の提案がなされたが。
A 農業者の方々との会話は重要だ。機会があれば行いたい。
Q 鳥獣対策としての電柵補助の増額を。
A 上限2万5千円を5万円に増額する。

Q 新年度予算の編成方針は
A 物価高騰やデジタル化の推進



武内幸次郎（無党派）



Q 農機具利用の環境を整え景観維持が必要。観光資源の観点から支援強化を。
A 検討していく。
Q 青龍窟、鬼の空手岩、広谷湿原への動線構築が必要。出入口に門扉設置ではなく道路整備が必要では。
A 不特定多数の車両通行により損傷が激しく、地元との協議で門扉設置をした。
Q 子ども議会で、白川の児童議員より地元農業者との懇談依頼の提案がなされたが。
A 農業者の方々との会話は重要だ。機会があれば行いたい。
Q 鳥獣対策としての電柵補助の増額を。
A 上限2万5千円を5万円に増額する。

提言 工業地域と自然の豊かさとの共存が町の特徴で魅力だ。道路整備を要望する。
雇用確保
Q 生産者年齢層の減少。製造業立地が多い本町の雇用確保は重要だ。外国人対応の強化は。
A 多文化共生は本町発展の重要分野だ。対応強化に取り組む。
提言 雇用確保と企業誘致は一体的だ。民間開発で行き止まりの道路も増加傾向であり、定住化には道路整備が不可欠である。



等覚寺の門扉

研修報告

町村議会議員研修会

1月12日に、イイツカコスモスモンにて、議会力アップを中心とした研修がおこなわれた。議会力アップの基準を明確にし、議会の役割の向上と住民と歩む議会等の新たな議会運営を進めていくための職責遂行に有用な情報収集・研鑽の機会となった。

中間報告 菊田町総合保健福祉センター（パンジープラザ）の移転に関する特別委員会

本特別委員会では、パンジープラザの廃止に伴う、社会福祉協議会と観光協会の拠点となる「まちづくり拠点施設」の井場川埋立地建設について、議会として調査・研究を行った。6回にわたる協議の結果、井場川埋立地は海が近く想定外の災害を回避しにくい場所であること、埋め立てた経緯を含め本来の目的に即した利活用を図る必要があること、「まちづくりの拠点施設」というコンセプトが十分に理解されていないことから、福祉の拠点としては不相当とした。井場川埋立地以外の建設候補地は、社会福祉協議会の機能と行政サービスとの連携、利用者の利便性などに鑑み、新庁舎またはその周辺が適当であるとの結論に至った。

議会のうごき

12月	21日	議会広報特別委員会（159号の企画・編集）		
1月	9日	議会広報特別委員会（159号の企画・編集）		
	11日	総務常任委員会（新庁舎基本構想について）		
	12日	町村議会議員研修会「議員報酬・定数・政務活動費について」		
	15日	議会広報特別委員会（159号の企画・編集）		
	16日	菊陽町視察受け入れ（交通・多文化共生・ふるさと納税の取り組みについて）		
	19日	総合保健福祉センター（パンジープラザ）の移転に関する特別委員会特別委員会（パンジープラザの廃止検討について）		
	23日	全員協議会・議会運営委員会（令和6年第1回臨時会提出予定議案）、令和6年第1回臨時会、付託委員会（総務・厚生文教）		
	29～30日	産業建設常任委員会視察（熊本県菊陽町・益城町）		
2月	1～2日	総務常任委員会視察（広島県海田町）		
	4日	こども議会		
	6～7日	厚生文教常任委員会視察（大阪府守口市・羽曳野市）		
	13日	総合保健福祉センター（パンジープラザ）の移転に関する特別委員会（パンジープラザの廃止検討について）		
	14日	田川郡議長会研修「役場を動かす質問の仕方」		
	20日	全員協議会（令和6年第2回定例会提出予定議案）、広報特別委員会（160号の企画・編集）		
	22日	議会運営委員会（令和6年第2回定例会提出議案）		
	26日	令和6年第2回議会定例会（開会）、予算特別委員会（正副委員長選出）、総合保健福祉センター（パンジープラザ）の移転に関する特別委員会（パンジープラザの廃止検討について）		
	28日	議案質疑、全員協議会・議会運営委員会（令和6年第2回定例会追加議案について）		
3月	5～7日	一般質問	13～14日	予算特別委員会
	11日	総合保健福祉センター（パンジープラザ）の移転に関する特別委員会（報告について）	22日	全員協議会・議会運営委員会（令和6年第2回定例会追加議案について）、閉会
	12日	付託委員会		

6月定例会の予定

*会期は6月4日（火）から6月20日（木）まで
 *一般質問は6月12日（水）・13日（木）・14日（金）
 *問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

議会中継アクセス件数

3月末時点アクセス件数
（令和5年4月からの累計）
 ライブ中継 1566件
 録画中継 3630件

Qコミュニティ・スクールとは

A学校と地域の協働による学校運営のこと



福山直樹（飛翔の会）



Q 取り組み背景は。

A 子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑・多様化しているため。

Q 学校運営の取り組みも地域づくりでは。

A 地域住民が学校運営に関わることで、地域づくりにつながる側面もある。

Q 学校評議員制度との違いは。

A 学校運営協議会は、合議制で権限があるが、評議員は、個人の立場で学校運営に

意見を述べる。

Q 学校運営協議会の活動内容は。

A 学校運営の基本方針の承認など、年3回程度の会議をしている。

Q 地域学校協働本部はできているのか。

A 本部はできていないが、学校と地域をつなぐコーディネーターを委嘱している。

Q 専門のスタッフを置くべきでは。

A 統括地域コーディネーターを置く。

認知症施策の推進

Q パンジープラン8期の評価は。

A 認知症との共生と、その予防の観点から取り組み、確かな実績を上げている。

Q 認知症ケアパスの活用は。

A 2千部を作成し、医療機関や公民館に1800部を配布した。

Q パンジープラン9期の特徴は。

A 基本的に8期の施

策を継続し、その充実を図る。

Q 本町には、認知症カフェがないが。

A 認知症地域支援推進員や生活支援コーディネーターなどの意見を踏まえ、検討する。

孤独・孤立対策

Q 孤独と孤立の違いは。

A 孤独は独りを感じ、精神的な状態、孤立は社会とのつながりや助けのない状態。

Q 孤独・孤立に関して調査の実績は。

A 地域福祉計画策定に伴う住民アンケートがある。

Q 孤立しやすい状態の人は。

A 誰でもなり得るが、特に引きこもりや子

育て中の人、独居高齢者、外国人など。

Q 施策はあるのか。

A 特になし。各課で孤独・孤立の視点を持つことが大事。

Q 孤独・孤立対策地域協議会の設置は。

A 予定はないが、他

の実情を見ながら、検討する。

提言 地域コミュニティの推進が、今回の質問のような様々な課題解決の力を握る。専門のセクションを設置すべきだ。



オレンジフェスタ（認知症啓発イベント）

していただきたい。

Q学校給食に医食同源米の導入を

A即答できない



角崎明美（無党派）



Q パンデミック条約締結及び国際保健規則改正について、国から情報はあるのか。

A 現在、情報はない。

提言 国の動きを町民に情報提供して欲しい。

Q 近年、発達障がい児が増えている。本町の特別支援学級児童数の推移は。

A 増加傾向。令和5年度は10年前の約4倍、185名。

Q 不登校児童生徒数

の推移は。

A 令和2年度までは横ばい傾向。令和3年度、4年度は10年前の約2倍の100名前後。

Q 子ども医療費の推移は。

A 平成25年から令和元年までは、ほぼ横ばい。令和2年はコロナ禍で減少。令和3年、令和4年は対象が18歳まで引き上げられたことにより増加した。

Q 本町の第2次食育

推進計画について、令和6年度の取り組みは。

A 計画立案のためのアンケート調査を実施予定。4月中旬以降4回の会議を行い、計画に臨む予定。

提言

発達障がいには食が大きく関わっていると考え。子どもに限らず、幅広く食の大切さを教えていただきたい。

Q 学校給食に医食同源米の導入を検討で

きないか。

A 地元産減々米を使っている。地産地消の観点から導入は考えていない。

Q 現在使われている減々米の精米方法を

変えるだけ。詳しく聞いて検討できないか。

A 地産地消を大切なテーマにしてきた。即答はできない。

提言 医食同源米を1年間摂り続けること

によって、医療費が6割ほどに下がったデータもある。一番理想としているのは、有機栽培米が金芽米加工されることであるが、まずは現在使われている地元産減々米を金芽米加工したときのメリット

について詳しい説明を聞き、導入を検討

お米の革命

精米法の発明により、玄米の栄養素を残しつつ、『おいしくて』『健康に良いお米』が生まれているのです！

①表皮(茶色)「雨合羽」※
水をはじく性質で特に栄養素なし。味は不味。

②ヌカ層(黄茶色)「服」※
酵素や脂肪が多い。味はいまいち。

③垂糊粉層(ほぼ白色)「肌着」※
米粒の中では酵素やミネラル等が最も多い箇所。特別美味。更に優れた土壌で栽培されたものは一層豊富。でも白米にしてしまうと、それらが無くなってしまふ。

④澱粉貯蔵層(白色)「裸身」※
ほぼ炭水化物のみで他の栄養素が少ない。美味。

酵素とミネラルが重要
吸水すると相互助力で多くの健康成分を作る
※黄色マーカーは人の服装に例えた場合を示す

玄米には、コメにしか含まれていないモミラクトンなどの6成分が有る(但し白米には僅か)。それらの成分は他の食品からは摂れない。

医食同源米コンソーシアムシンポジウム資料より

Q ヤングケアラー支援の強化を

A 子ども家庭センターにSSWを設置



小山 信美 (公明党)



Q 実態把握の課題は。
A 自身が当事者と認識できていない。家庭内のことで見えにくい。

NEにて周知を図る。
Q 高齢者増を見込み地域支援センターも活用となったが、今後の流れは。
A ケアマネジャーがヤングケアラーの研修や知識取得の研修、講座を受けると事業所加算が算定される。

員の研修会。
Q 教育現場での理解増進と児童生徒への対応は。
A LGBT(※2)に共通理解をするため本年度、中学校の制服を変更した。

Q 男性の育児休業取得率は。
A 25%。
Q 女性及びマイノリティの人が、必要な物資や備蓄環境は。
A 生用ナプキン、液体ミルク、ベビーフード等。

多様性ある社会

Q 国の集中取組期間に対する町の見解は。
A 家庭センターにSSW(※1)を配置し、小中学校を巡回。児童生徒の端末に相談窓口のアイコンを貼付。生活アンケートに質問項目を追加。
Q 広報紙に特集記事の掲載は。
A 過去に掲載。L I

理解を深める啓発については。
A しおさいや広報紙、人権講演会、企業職

Q 新規事業のシステム導入に係る予算は。
A 230万円を予定。
Q LINEの窓口設

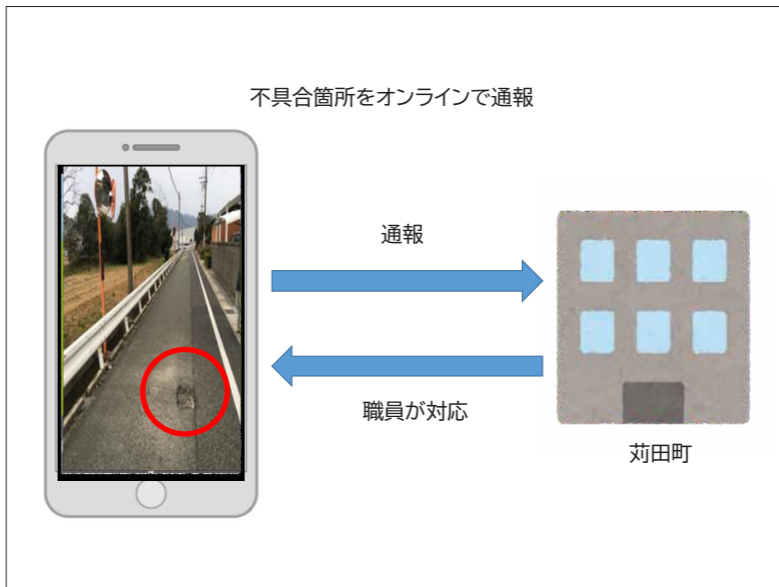
危険情報をLINEで

Q プラスチック段ボールベッド、インフレーターマットや大人用紙おむつ。
Q 新メニューの状況は。
A 倉庫ごとに在庫管理し、システム化はしていない。

Q 避難所での女性リーダーの設置は。
A 運営する側に女性視点が大事と認識。
Q 性別規範による役割分担になつていないか、取り組みは。
A 今後、他自治体例を参考にする。
Q 備蓄管理とデジタル化については。
A 倉庫ごとに在庫管理し、システム化はしていない。

置については。
A 令和6年6月に通報サービス開始を考えている。
Q LINE登録者の増減と目標は。
A 2月末で7236人。1年前より約1000人増加。令和8年度末で8500人。

(※1)SSW：スクールソーシャルワーカー。
(※2) LGBT：セクシュアルマイノリティの総称のひとつ。



通報システム

Q 雨水対策を

A 土砂災害警戒区域全体の防災計画を整備



岩谷 潔 (飛翔の会)



Q 過去発生した雨水災害は。
A 大きな災害は発生していない。

Q 集中豪雨などの被害は。
A 平成30年7月豪雨で、床下浸水16件、道路冠水19件。

Q その時の降水量は。
A 1時間に48ミリ、総雨量389.5ミリ。

Q その後の対策は。
A 雨水計画を立てることに着手した。

Q 住民の財産、命を守るために計画的に

行われているのか。
A 令和6年度までに雨水管理総合計画を作り、ハザードマップの内容も改定する。

Q 防災計画の進捗状況は。
A 情報伝達の対策を行っている。

葉山池導水路

Q 葉山池、新開池の利用は80%程度減っているが、認識はあるのか。
A 認識はある。開発

が進み、受益地が減っている。
Q 導水路の必要性は薄れてきているが、防災対策として表面排水溝の役割は大きいと思うが。
A 現時点では、農業用水として水を供給する重要な施設。

Q 導水路の管理は、与原文利組合が年間述べ200〜300時間かけて行っていることは知っているのか。
A 点検報告で認識し

ている。
Q 地域防災計画では、巡視点検を行い、危険箇所の実態把握に努めるとあるが。
A 定期的な点検は行っていない。

Q 以前、導水路下の住宅に土砂が流入したことがあるが、防災目的の巡視はしていないのか。
A 二先山は町所有、管理しなければならぬが、導水路の改良は手つかず。

Q 水利組合が、導水路は必要ないとなればどのようにするか。
A 検討しないと答えは出ない。

Q 防災の観点から、水が必要なくなれば考えるというのは、おかしいのでは。
A 導水路が必要ない

とならなければ動けない。
提言 地域防災計画にあるよう、点検パトロールを行わないと自然災害が人災になる。

と豪雨が重なった場合は。
A シミュレーションしていない。
Q ここ数年、水田は冠水しているが。
A 雨水総合管理計画で優先順位を決め、進出企業に迷惑のからないうように検討する。

与原文画整理地東側の工業専用地域の排水対策

Q 内水氾濫が危惧されるが、排水能力は試算しているのか。
A していない。

Q フラップゲートになつており、満潮時

与原文地区は今後工業用地として活用していくため、雨水対策をすべきだ。



荻田町ハザードマップ

Q 災害支援活動の取り組みは

A 大規模災害では水や食料、人的支援



花見文敏 (高志会)



Q 災害ボランティアを募集して被災地に派遣する取り組みは。A 行っていない。

Q 本町独自の災害支援は行っているのか。A 福岡県からの支援要請等を受けて行っている。

Q 本町に避難している人は。A 現在まで確認できていない。

Q 個人住宅の耐震対策が必要な家を把握しているのか。A 把握していない。

Q 家屋の耐震強化支援策等はないのか。A 木造戸建て住宅の性能向上改修補助金制度がある。

Q 老朽化が進んだ各区の集会所等、避難所として対応できるのか。A 改修などすれば役立つ。

Q 避難所の確保が大事だ。集会所などの建て替え支援の充実を望む。A 避難所の確保が大事だ。集会所などの建て替え支援の充実を望む。

地域活性化対策

Q シティプロモーションの現在までの取り組みは。A タブロイド紙や新しく観光ポスターを作成した。

Q 全国に知名度のある本町出身者を広報大使や観光大使に任命してはどうか。A 事業目的や費用対効果、活用方法などを勉強していく。

Q 本町の魅力発信には町民自身が誇りや

愛着を持ち、地域を良くしたいという思いが必要だと思いが。A 町民自ら、地域を愛し発展していく地元愛、郷土愛は大切だ。

Q シビックプライド(※)の醸成には幼少期からの教育が大事だ。取り組みは。A ふるさと学習の中で、地域について調べ地域の課題や問題解決を通じて、地域のために何ができるかを考え、地域を愛する気持ちを育てていくような学習を行っている。

Q シビックプライドの醸成に効果があるのは文化財や祭りでは。A 考えていく必要がある。

Q 本町の伝統文化である。A 本町の伝統文化で

ある松会や苅田山笠を通じてシビックプライドを持つ住民に育て、将来を担う人材育成に取り組んでみては。A 子どもたちが地域の誇りだと思うことは大切だ。この町が誇りに思えるようなまちづくりを続ける。

Q 次期総合計画に盛り込んでいく事も重要だと思いが。A まちを愛する気持ち

ちは大切だ。検討する。

※シビックプライド：自分が住んでいる地域に対する愛着や誇り。



苅田山笠

Q 子ども議会提案の防災ベンチの設置は

A 情報収集して研究する



白石 学 (公明党)



Q 虐待の早期発見が分かりやすい小中学生のパンフレット作成は。A 関係部局とも相談しながら取り組んでいく。

Q 卒業生の親から相談があった。ランドセルなどのリユースはできないのか。A 本町では、制服、体操服、文房具など、各学校のバザーでリユースしている。ランドセルはないので声掛けしていく。

Q 「子ども大綱」が決定。市町村子ども計画の作成は。A こども家庭センターを設置する。具体的内容は、県の計画を受けて決める。

Q 子ども権利について、子どもの教育、養育の場など、あらゆる場面での理解の促進は。A 平日頃より授業科目や、特別な授業の中で指導をしている。

水道事業

Q 水道管の耐震管への取り替えは進んでいるのか。A 令和3年度から令和7年度の5カ年で、約10キロの耐震管への更新作業を実施している。

Q 漏水リスクの評価で、「天地人の宇宙水道局」の導入について、DX推進の上からも検討は。A 職員の負担軽減や効率的に作業が進む

のであれば、導入を考えていく。

Q 災害時、断水が続くと非常に不便だ。井戸水の活用を考えるとどうか。A 井戸水の活用は検討していないが、情報を収集し研究する。

Q 飲料水ではなく、生活用水の確保のため、検討しては。A 大規模災害時に、生活用水などに井戸水活用の必要性は高い。研究する。

罹災証明書

Q 国のシステムは、罹災証明書がないと活用できない。日田市と民間企業が開発したシステムは、それをカバーしている。A 導入は。A 導入された市町村

の情報を得て研究する。

Q 日数も時間も半分以上で、財政面・職員の労力も非常に軽減でき、有効だ。健闘に値するのでは。A 福岡県の取り組みの進捗を確認しながら、優先順位をつけて検討する。



苅田町 SDGs 子ども議会

北九州空港、滑走路延伸に伴い町の戦略は

A 関係者との連携を強化



友田 敬而 (無会派)



Q 連携強化の中身は。
A 福岡県、北九州市、周辺自治体との協議の中で、利用促進に対する方策なども検討をしていきたい。

Q 空港アクセス改善を問う。
A 本町から北九州空港への交通手段として、以前はエアポートバスが運行していたが、現在は行っていない。今後、アクセスの向上等、北九州空港の利便性向上に向けた取り組みに



エアポートバス

ついて、福岡県、北九州市や交通事業者などと連携し、検討をしていく必要はあるが、具体的検討までいたっていない。

Q 小倉駅や空港に最寄りの朽網駅などからのアクセス改善のために、比較的早期に実現可能なものは、日豊本線に新駅を設

置する。東九州道の北九州空港インターそばに新駅から鉄道で12分、バスに乗り換えて空港まで8分となり、小倉駅から20分で空港に行くことができる。建設コストも約15億円。この建設コストも2029年の1年間の利用者数だけで賄えるのでは。

A 新しいアクセスについては、国家的なプロジェクトで考えるべき。

Q 国家的と言われると、議会で議論をする余地がなくなるのでは。
A 北九州空港のアクセス改善については、アクセスが改善しないと乗客数も増えない。アクセスを改善するためには乗客数

が増えていかないといけない。アクセスの改善が協議の場に乘らないのが、悩ましく課題である。

A 苅田駅からのエアポートバスについては、県と協議は行っていない。



北九州空港滑走路延長計画 (国交省の資料から)

防災無線が聞こえにくいとの声は

A あるのは承知している



末石 伸二 (飛翔の会)



Q 本町における79カ所の設置場所は。
A 第一次避難所となる区の公民館、指定避難所、町内を網羅するように公園や沿岸部に設置。

Q 防災無線の聞こえ方などのアンケートを実施したことは。
A ない。

Q 改善策の進め方は。
A 聞こえにくいという声のある地域をもとに確認している。
Q 連絡をすれば対策をしてくれるのか。

A 手続きもあり、即対応は難しい。本町のホームページや専用電話で防災無線の内容を確認できる。

Q 防災無線すべての内容を、テレビの「dボタン広報誌」やLINEに掲載しないのは。
A 災害時の情報など、緊急かつ迅速な住民への伝達方法として活用している。

Q 防災無線の内容が聞こえにくい住民の不安解消のためにも、

dボタンやLINEへ掲載しては。
A 今後、デジタル室で検討していく。

Q 苅田町消防出動ダイヤルの自動音声が届き取りにくい。
A 自動音声の変更はできない。指令項目の内容をホームページなどにわかりやすく掲載していく。

Q 防災無線が聞こえない、dボタンやネット環境がない方への情報発信方法は。
A 協力体制や声かけ

が必要。自主防災組織の活動や地域ぐるみの防災対策、共助への支援を行う。

防犯灯設置

Q 防犯灯設置までの手順は。
A 自治会が設置、管理、電気料を支払っている。一部を本町

が負担している。
Q 区がない工業地域は防犯灯の設置はできないのか。
A 現段階では、検討をしていない。

Q 通勤形態も自転車や歩行者が増えている。道路が暗いという声が多いが。
A 企業からの要望があれば、安全確保が必要であり、前向きに検討していきたい。

通報アプリ
Q 6月からスタートする通報アプリの内容は。
A 本町公式LINEを活用し、不具合箇所の写真データや位置情報等をLINEから本町へ送れるシステム。

Q 対象となる項目は。
A 公園の遊具、照明灯、ベンチ、草、樹木、水回り。道路は舗装と側溝を検討中。



大熊公園の防災無線

Q 空港整備による新たなまちづくりは

A 持続可能な創荷のまちとして取り組みたい



尾形 均 (無会派)



Q 3年先、3千円滑走路が完成予定。これに対してどう対応するか。

A 域の用途については。物流業以外にも供することは可能。

Q 工専地域にふさわしい政策を講じないのか。

A 物流の進出は想定している。工業用地については、工場適地を調査した。

Q 具体的には。

A 空港島の本町部分の土地利用について関係者と協議していく。

Q 与原区画整理地東側にある工業専用

Q 結果は。

A 民間ではできない工業用地の造成を優先に考え調査した結果、二崎地区が最適との結果を得た。

Q 以前は苅田沖空港

A 今後、空港とつながる町として発信したい。

人口減少社会

Q 今後のまちづくりへの共通課題は。

A 一番は、人口減少

社会と少子高齢化。Q これに合わせたまちづくりに取り組んでいるか。

A 働く場を増やすべく企業誘致を進めていく。また、公共施設への対応が課題。

Q 公共施設については、長寿命化のみに対応だ。これで十分なのか。

A 国より人口減少に向けた施設整備への取り組み通達がきている。これにより、公共施設個別施設計画、総合管理計画を立てた。

Q 本町には過剰サービスの施設が多い。公民館、パンジープラザ、温水プールなど。これらの統廃合は考えないのか。
A 方針はあるが慎重に見極める。

Q 人口減少時代への対応として早く行うべき。利用者は減ってもゼロにはならない。政治的決断が必要では。

A 統廃合については既に議論している。

Q 管理費用についても計画より大幅に高騰している。なぜか。

A 総務省の示す概算費用で算出しているが、細かい部分の費用は含んでいない。
提言 本町には過剰サービスのなハコモノが多い。財政はいつまでも良いとは限らない。人口減少時代に合わせて統廃合に着手すべきだ。



与原工業専用用地

Q 農業振興について

A 積極的に関わっていく必要がある



田 朗 (高志会)



Q 農業振興地域とは。

A 国や県の補助金の利用ができる地域。

Q 農業振興地域の面積は。

A 832ヘクタール、青地434ヘクタール、白地397ヘクタール。

Q 青地地域と白地地域の違いは。

A 青地は農地以外への利用が厳しく制限された農地で、白地は農地以外の利用の制限が緩くなった農地。

Q 農振での国の交付金を使つての事業は。

A 多面的支払交付金や中山間地支払交付金などで、新規農業者の支援として経営開始資金がある。

Q 取組状況、件数は。

A 多面は7団体、中山間は1地域1団体、環境保全支払交付金は1団体で新規就農者の支援は1名。

Q 市街化地域の農地は。

A 市街化は、10年以内に宅地化を図る地

域であるため、農振地域と同等の補助は難しい。

Q 市街化農地が維持できないと耕作放棄地になるのでは。

A 市街化農地も適正に管理すべきで、苦情などがあれば現地確認の上、所有者に連絡。

担い手不足対策

Q 本町の農家件数、高齢化率は。

A 30アール以上の耕

作者は平成27年は251戸、令和2年は187戸、高齢化率は71.1%。
Q 新規就農者への事業の中心は。

A 認定新規就農者の対象は49歳以下で、月12万5千円、最長3年間支給される。
Q 要件が49歳とあるが引き上げは可能か。

A 国、県のほうに引き上げを要望している。難しいが今後とも要望していく。

苅田駅について

Q 苅田駅におけるにぎわいづくり、公共交通、駅関連施設の現状と課題は。

A まちづくり観光協会主催のえきらく大市や苅田工業高校を中心としたイルミ

ネーションなど実施し地域の活性化に努める。

Q この取り組みを進めていく上での課題は。

A 周辺に来場者の駐車場を確保できない。

Q 駅利用者から駐車場の整備してほしいとの声を聞く。計画は。

A 多目的スペースを有料駐車場とする方法があるが、山笠や十九観音で利用されている。関係者との協議を進めていく必要がある。
提言 すべてを一度で解決できないが、検討し課題の解決を。



苅田駅

Q スポーツ振興とは

A 気軽に参加できる機会と場所の充実を図る



森 琢磨 (高志会)



Q 本町最上位計画である総合計画の「生涯学習の充実と文化の振興を図る」とは。
A 子どもから高齢者まで生涯を通じ、スポーツ活動などを行う。

Q 具体例は。
A アジャタ大会、町民ふれあいマラソン大会など。

Q 総合計画策定時のアンケート結果は。
A スポーツ施設が十分整備されていない。

Q 早急に改善すべき

では。

A 公共施設管理計画に沿って順次改修工事を進めている。

Q テニスコート増設など要望は。
A 平成27年度に体育協会からあった。

Q 要望内容は。
A 分散したコートを集約し、大会運営ができるようナイター設備を完備したオムニコート我希望。

Q 健康づくりのため
A ニュートンコース

設などが必要では。

A 施設の統廃合などの時期に検討する。貴重な意見だ。

提言 スポーツ振興は総合計画の重要コン

セプトだ。すみやすい町づくり実現のためにも早期に施設の充実を図るべきだ。

山林自然を活用したレクリエーション

Q 登山道などコースは。
A 高城山登山道4

ルート、等覚寺地区

散策ルート、松山城登山道。

Q 維持管理は。
A 草刈や倒木撤去、看板破損調査など。

Q 観光宿泊税交付金の取り組み状況は。
A 高城山登山道調査、等覚寺のバイオトイレ、観光案内版など。

Q 登山の魅力等を発信する取り組みは。
A 観光協会と一緒にSNS発信やホームページ。

Q 山歩きの新たな形、山スタンプを知っているか。
A スマホを活用し記念デジタルスタンプを収集するアプリ。

Q 健康活動デジタルポイントとして活用すべきでは。
A 観光名所などと連携した事業として検討する。

Q 今後の山林自然を活用した取り組みは。
A 登山道などの整備や情報発信などは引き続き進める。広谷湿原がラムサール条約登録地となれば、青龍窟、鬼の唐手岩周辺はさらに魅力的な散策ルートになる。

提言 山林自然の生態系に配慮し、山林自然を活用した整備により、安全かつ快適な環境を提供し、町内外の方々が自然に触れ合い、観光振興やシビックプライドを育み、健康促進で

きることを期待する。



鬼の唐手岩

Q 白川北部の下水道整備は

A 個別合併槽で推進を



坂本東二郎 (高志会)



Q 個別合併浄化槽と面整備公共下水道の相違点は。
A 整備期間として下水道は長く、合併槽は短い。費用として下水道は多額であり、合併槽は少額の費用ですむ。

Q 個人負担の設置費用は200万円程度、とても少額とは言えないと思うが。
A 合併浄化槽の設置費用は業者によって見積金額が違うので一概には言えない。

Q 維持管理運転費用は、プロワーを回す電気代で年間3万円程度かかる。総合していくらかかるのか。
A 補助金のない前の金額で5人槽で7万円程度と電気代などになる。

Q 白川南部地区の整備後、白川北部の工事にいくら使ったのか。
A 白川北部地区の下水道整備に、まだ費用は使っていない。執行部はよくお金

がない、時間がかかると言っているが、その二つは住民と町のどちらが持っているのか。
A 費用も時間も双方が関連し、負担し合っている。

Q いずれも役所が持っているから執行権が担保されている。役所が住民の気持ちを酌んで、政策として遂行していくのが最大責任では。
A 行政コストを最小限に抑える事が使命

だと思っている。
Q この地域では面整備をしないというところか。
A 合併浄化槽で水洗化を図って将来的に下水道整備を図っていくと回答している。

Q 将来的の将来というのはいつか。
A 時間的にいつとは申し上げられない。

Q 町長が、面整備をやるかやらないかだ。
A 町の中で何度も検討し、総合的に判断した。

Q 白川北部地区750戸1500人の人たちが、痛みを抱え我慢していることへの思いやりの視点は。
A 総合的に判断して決めた事。

提言 町政の上げ足を取るといった事ではなく住民の切なる願いを町長に届けたく

て質問をしている。



車庫内に設置した浄化槽



行 橋市消防本部で、3月26日、行橋市・苅田町連携協約 30 m級先端屈折式はしご自動車の配備式が行われました。

このはしご車は、総重量約 20 t の大型消防車両で、4WSにより狭い道路の走行も可能となっています。はしごは、先端のバスケット底面が地上から最大約 31 m まで伸長し、また先端の 2.5 m が 80 度屈折することにより、屋上又はベランダ等の柵などの障害を回避してフロア付近に設置することができるため、要救助者を容易にバスケット内に収容することができます。

バスケットに装備している放水銃からは、最大で毎分約 2 トンの放水が可能であり、基底部からの操作により、バスケット内が無人の状態であっても高所から放水ができる構造となっています。

地盤面より低く伸長することもでき、様々な現場での活躍が期待されます。

地上から最大
約31mまで
(ビルの10階相当)
伸びます！



表紙の写真



殿川クリーンクラブ
による桜祭り

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
角崎	森	福田	末石	小村	榎谷		
明美	琢磨	直樹	伸二	信美	智宣		

議会広報特別委員会

春の心地よい日差しの中、ご家族の卒業など新生活が始まった方も多いのではないのでしょうか。さて、3月議会では新年度予算を審議。令和6年の新規事業も始まります。予算の身がどのように使われどう変わっていくのか、町民の皆様には、しっかりと見守っていただきたいと思えます。これからも手に取り、読みたいなる紙面作りに取り組んでまいります。皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。

小山 信実

あとがき